



日 EU デジタルパートナーシップ・セミナー
新次元の日 EU デジタルパートナーシップを目指して

2025 年 10 月 15 日（水）17:00～18:30 東京（10:00～11:30 Brussels）

共催：一社) 電子情報技術産業協会、一財) 日欧産業協力センター

<要約>（敬称略）

開会挨拶：

Jean-Eric Paquet, 駐日欧州連合代表部 特命全権大使

- ・日 EU デジタルパートナーシップは順調。7 月の首脳会合が改めて意義を強調。経済的な安全保障を日 EU がそれぞれ求めている。
- ・日 EU 産業界は AI や 5G/6G 等インフラに多くの産業界が取組み。また日 EU が DFFT で個人情報等を守りつつ、共通市場でデジタルサービスを作りたいと考えている。

プレゼンテーション：

池田 満 デジタル庁 参事官（国際戦略担当）

- ・デジタル技術は社会経済に浸透する一方、民主主義・法の支配といった価値観に大きく左右。デジタルの恩恵を人間中心の前提で享受したい。
- ・デジタル庁が立ち上がった 2021 年 9 月に申し入れられた日 EU デジタルパートナーシップは 2022 年 5 月に両首脳が立上げ合意した。同年 3 月に DIGITAL EUROPE、JBCE、JEITA 等産業界から勧告があったことも契機となっている。
- ・日本側はデジタル庁・経産省・総務省、EU 側は欧州委員会が出席し、2023 年 7 月、2024 年 4 月、2025 年 5 月に閣僚級会合開催。
- ・日 EU デジタルパートナーシップは包括性と機動性を特徴とし、半導体、海底ケーブル、Digital Identities 等で実践的な協力モデルを打ち出している。Catena-X とウラノスエコシステムの相互接続実証、広島 AI プロセスから連なる OECD の報告枠組み、6G・量子技術の共同研究開発等、具体的な取組みが出てきている。
- ・投資の予見可能性を高めるため今後もビジョンを形作っていく。産業界の関与が必要。

Olivier Bringer, Head of Unit for International Affairs and Policy Outreach, Directorate-General for Communications Networks, Content and Technology, European Commission（オンライン登壇）



Co-funded by the European Union and the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI). Views and opinions expressed are however those of the author(s) only and do not necessarily reflect those of the European Union, the METI or the European Innovation Council and SMEs Executive Agency (EISMEA). Neither the European Union nor METI, nor the granting authority can be held responsible for them.



- ・EU の国際デジタル戦略は、技術競争力・安全保障・グローバルデジタルガバナンスと標準化を軸にしている。
- ・今年の日 EU デジタルパートナーシップ閣僚級会合・首脳会合では、競争力とイノベーションで 6G と量子の共同研究開発、経済安全保障で北極、サイバー、半導体サプライチェーンレジリエンス、グローバルデジタルガバナンスで AI 安全性、Digital Identities/データスペースの相互運用性、オンラインプラットフォーム市場を打出し。
- ・新次元へ、成果が見えるプロジェクト、イノベーション協力、産業界ステークホルダーの関与を強化したい。主要トピックとして、技術は Horizon Europe 他、AI はイノベーション協力でロボット他、Digital Identities/データスペースはトラスト相互認証他。
- ・今後、11 月にサイバー週間（東京）、来年 3 月に総務省・経産省との対話とデジタル週間（東京）、来年 5 月に第 4 回閣僚級会合（ブリュッセル）。

Cecilia Bonefeld-Dahl, Director General, DIGITALEUROPE

- ・DIGITAL EUROPE に 4、5 千社以上の欧州 + 日米等の企業が参加。グローバルな組織。
- ・重要な技術のマッピングとして、米中欧日を比較した。その結果、イノベーションのスピードが上がったこと、パートナーが必要なこと、安全保障（安全な 5G/6G、海底ケーブル）が必要なことが判った。
- ・DIGITAL EUROPE は欧州の競争力と安全保障を求める「AI と重要技術」宣言を、16 の EU 企業と 25 の関連国家組織のトップの署名で発出した。
- ・引き続き、AI、サイバー、安全保障、サステナ、標準化で戦略的に貢献していく。

Sebastiano Toffaletti, Secretary General, European Digital SME Alliance

- ・European Digital SME Alliance に 4、5 千社以上が参加。中小企業こそが欧州の背骨。
- ・日 EU が共有する課題には世界的な背景がある。競争をベースに解決したい。
 - 海外のデジタル技術への依存度が高い。
 - クラウド市場の米国依存度が高い。
 - 半導体製造世界シェアが EU10%、日本 10%以下。
- ・米国の投資が巨大で、規模の優位で、モノポリーで一人だけが勝つ。

米国政府の技術対外政策

- 米国 AI アクションプラン：「アメリカ STACK」



Co-funded by the European Union and the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI). Views and opinions expressed are however those of the author(s) only and do not necessarily reflect those of the European Union, the METI or the European Innovation Council and SMEs Executive Agency (EISMEA). Neither the European Union nor METI, nor the granting authority can be held responsible for them.



- EU 米国貿易協定：NVIDIA の AI チップを 400 億ドル買うことになった。
- ・海外依存性を抑制するためにテックの選択肢を作り技術主権を確保したい。規制だけでは依存を減らせないと EU も気づいた。官民パートナーシップで公的インフラを作る。
- 2000 億ユーロ AI 大陸戦略 (EU)
- 半導体 AI イニシアティブ (日本・経産省)

Marco Canton, Senior European Affairs Executive, Fujitsu Ltd./Chair of Digital Innovation Committee, JBCE

- ・日 EU 貿易は 2019 年日 EU-EPA 締結後、商品が 14%、サービスが 27%、増加。
- ・日 EU パートナーシップの柱
 - 競争力アライアンス -デジタルパートナーシップ -グリーンアライアンス
 - 個人データ同等性・十分性相互認定 -非個人データフロー協定
 - 安全保障パートナーシップ
- ・日 EU デジタルパートナーシップ強化は戦略的な必然性がある。そのアイデア。
 - トラストを確保した上で世界最大のデータフロー両域に
 - 日 AI Safety Instituteとのアレンジメント -汎用 AI と AI エージェントの協力
 - AI パイロットプロジェクト -サイバーセキュリティ等の相互認証
 - 宇宙ベース衛星網の次世代化 -Horizon Europe と日本

パネルディスカッション：

モデレーター：生貝 直人 一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻 教授

- ・自分は世界のデジタル法制度を研究してきた、日本の審議会・研究会等でも政策提言を行っている。日 EU の具体的な政策は異なるが、EU の GDPR/DSA/DMA/AI 法/データ法/DGA 等を見てきた日本は、ブリュッセル効果の影響を受けてきた。
- ・日 EU デジタルパートナーシップは良く知られていない。政策やビジネスの協力を通じて、共通の市場を作っていく非常に重要な枠組みである。



Co-funded by the European Union and the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI). Views and opinions expressed are however those of the author(s) only and do not necessarily reflect those of the European Union, the METI or the European Innovation Council and SMEs Executive Agency (EISMEA). Neither the European Union nor METI, nor the granting authority can be held responsible for them.

モデレーターは以下のテーマを取り上げ、○のように結んだ。

- 曰 EU デジタルパートナーシップの現状評価。成果と課題
 - AI、IoT/6G、量子等を活用する取組み又はデジタルパートナーシップへの影響
 - デジタル分野における規制協力
 - 曰 EU デジタルパートナーシップの将来の希望
- ブリュッセル効果から相互に学びあう時代へ。日本の経験を欧洲にどう伝えるか。
- 曰 EU デジタルパートナーシップの実践を進めることが重要。

閉会挨拶 :

執行 裕子 電子情報技術産業協会 理事

- ・曰 EU のデジタル協力が、信頼・透明性・人間中心の価値観に基づき、AI、量子等先進分野の競争力やイノベーションを強化していく。
- ・サイバー脅威対応、オープンで安全なデータ流通等の課題は、国際官民連携が不可欠。
- ・我々主催の CEATEC の今年テーマ「Innovation for All」は、国境や業界を越えすべての人に恩恵をもたらすイノベーション、を目指す理念。

以上



Co-funded by the European Union and the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI). Views and opinions expressed are however those of the author(s) only and do not necessarily reflect those of the European Union, the METI or the European Innovation Council and SMEs Executive Agency (EISMEA). Neither the European Union nor METI, nor the granting authority can be held responsible for them.